

緑の相談

Q & A

Q

コルク(cork)はどのようにしてできるのですか？

A

コルクはこうしてできます。

コルク(英語:cork)は、コルクガシの樹皮のコルク組織を剥離、加工した弾力性に富む素材です。空気をよく含み軟らかいため、中国語では「軟木」と呼んでいます。また、コルクに似せて作った合成素材は合成コルクと呼ばれます。

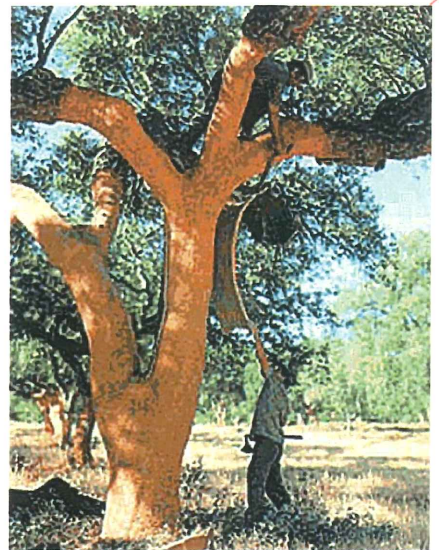
コルクガシ

コルクガシ(Cork Oak)は、ブナ科コナラ属の常緑高木(オーク)で、地中海地方原産です。地中海の温暖な気候を好み、南欧、北アフリカに分布します。イベリア半島をはじめ、イタリアなどでもコルク製造のために栽培されます。

コルクガシはコルク生産目的だけではなく、防砂林としても植えられています。

採取と加工の方法

コルクは、コルクガシの樹皮です。採集する際に形成層などの生きた組織を傷めないように、樹皮のみを剥いで製造します。



コルクの木の写真

コルクガシを植樹後、数年を経た段階で一回目の剥ぎ取りを行います。その後は数年ごとに再度厚く成長した樹皮を剥ぎ取つていき、二回目以降に得られた樹皮は表面が平滑な均質性の高い材質であるので、打ち抜いてワインなどのビンの栓として使われるように製造します。

主な生産地はポルトガルであり、全世界の生産量の約50%を占めます。世界のコルク林の面積は約228万ヘクタールあります。

利用

発砲プラスチックのように多孔質で、弾力性があり、保湿性に優れています。天然ゴムが広く知られるまで、欧米圏における緩衝材や密閉材として重要なものでした。現在の利用としてはワインのビンの栓や、野球の硬式球の芯、バドミントンのシャトルなどです。

コルク栓を打ち抜いた後の端材は、粉碎して成型加工され、フローリング用床材や断熱

材などになります。オーボエ、クラリネット、ファゴットといった木管楽器の接合部分にもコルクが用いられ、楽器内部の密閉性などに大きく関わってくるため、音色など楽器のバランスに重大な影響を及ぼします。



クラリネット、オーボエ、ファゴットなどの楽器のジョイントに利用される。

ルアーやフライフィッシング用の釣竿のグリップ部分にもよく利用され、滑りにくく竿の感がダイレクトに手に伝わり、水濡れに殆ど影響されず、なにより風合いがよいため、多くの愛好家に好まれていきます。多孔構造と弾力性により、針を一度や二度刺した程度ではほとんど跡が残らず、これを利用してコルクボードとして用いられ、ボード自体をコルクの風合いを活かしたインテリアとして用いられています。

(井頭公園緑の相談所)

「コレやってみよう！」

ハーブの手作り小物 「タマゴのサシエ」を 作ってみよう

材料

○卵・ハーブ適宜・チュールレース・装飾テープ・リボン適宜

作り方のポイント

○ハーブは、ラベンダー・カモマイル・ローズマリーなど。

○卵はヒビが入っても装飾テープで補強でき、楕円に開けられなくてもテープの貼りでカバーできます。

作り方

1



キリで卵の真ん中に穴を開け、指ではがして楕円形の穴を作る。中を洗い、良く乾かす。

2



ハーブを入れる。楕円形の周りに、接着剤をぬってチュールレースをはる。

3



チュールレースに切れ目を入れ、装飾テープをハサミでカットして適宜に重ねてはっていく。

4



リボンをつけて完成。

バスケットに入れて部屋に飾るのも良いですね。



（井頭公園緑の相談所）